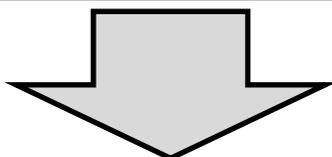


○ 教科【国語科】

1 児童の状況及び実態

- ・本を読むことが大好きで、読書する習慣が身についている。(90%以上)
- ・新出漢字の学習に意欲的ではあるが、定着が不十分である。(10%程度)
- ・言葉の意味の理解不足、生活経験の不足がみられる。
- ・話すことが好きではあるが、全体の前で発表することに抵抗感をもつ児童が多い。(40%程度)
- ・聞く力に差があり、相手の話を最後まで聞く力の定着が不十分である。(20%程度)



2 学習についての課題

【知識及び技能】

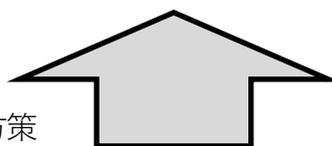
- ・長音、拗音、促音、撥音などの表記で悩む児童がいる。(10%)
- ・助詞「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）を使って文章を書くことができない児童が多い。
- ・語彙力が乏しく、言葉集めが難しい。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・気持ちを想像したり、人との関わりの中で伝え合ったりすることが難しい。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・読書が好きだが、好きなシリーズや特定の本にのみこだわる児童が一定数いる。



3 授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

- ・朝学習の時間を活用して、長音、拗音、促音、撥音等のプリントで復習するなどをして着実に定着させる。
- ・文章を書く際は、助詞やかぎ（「」）の使い方の指導を確実にを行い文章の中で書けるようにする。
- ・季節の言葉などテーマを決めて、言葉集めを友達と協力して行うことで、いろいろな言葉を習得させる。

【思考・判断・表現】

- ・日直の話の際、相手意識を高め、発表する力を高める。
- ・「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」の書く順序を定着させ、主語、述語のある文章を書いたり話したりさせる。

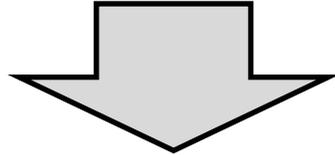
【主体的に学習に取り組む態度】

- ・司書教諭の協力のもと、読み聞かせやブックトークなどを行い、様々な種類の本に触れさせ読みたいという意欲を高める。
- ・読んだ本を紹介し合う活動を定期的に取り入れ、友達の読んでいる本にも興味を持たせる。

○ 教科【算数科】

1 児童の状況及び実態

- ・時計の学習では、時刻は読めるが、時間の計算が難しい児童がいる。(10%程度)
- ・文章題が読めず、理解できず、立式することができない児童がいる。(10%程度)
- ・繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算ができず、2位数以上の筆算ができない児童がいる。(10%程度)



2 学習についての課題

【知識及び技能】

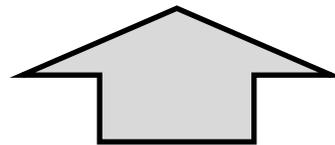
- ・1位数同士の足し算や引き算の計算で、指を使って計算している児童がいる。
- ・時計は読めるが、日常生活に生かせず、5分前がいつなのかがわからない児童が多い。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・文章題を読まず、状況を思い浮かべられないので、図に表すことができない。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・分からないことをそのままにしたり、友達の説明を聞かない児童がいる。



3 授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

- ・繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算のプリントやフラッシュカードを使って答えを覚えるまで繰り返し定着させる。
- ・日常生活でも時計を意識して生活させる。

【思考・判断・表現】

- ・文章題に取り組む際、できる限り教師の範読と共に、声を出して読み、キーワードに印をつけながら読み、一緒に図に書くことで定着を図る。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・友達と解決の方法を伝え合う場面を計画的に取り入れ、多様な考えに触れさせ、その解決の良さを感じさせる。
- ・学習の終わりに振り返りの時間をとり、言葉でその時間の学習感想を書かせる。「わかった」喜びを実感させたり、分からないことを次の時間に解決したいという気持ちをもたせたりする。